

# 金剛寶戒寺便り

四月一日発行 第十三号

檀信徒の皆さまこんにちは。ひと雨毎に暖かくなつてきていますが、寒暖の差の大きい季節でもあります。季節の変わり目は精神的にも不安定になりがちです。疲れを感じたら早めに休息をとるように心がけましょう。

さて三月九日に巡廻布教が当山の本堂にて行われました。この日も朝からの雨だったのですが、幸いにも午後からは晴れ間も見え、約五〇人の方が聴講に来て下さいました。

法話のあらすじは、テレビ局の構成作家であつた高野誠鮮さんが東京での仕事を辞め故郷の石川県羽咋市に帰り、過疎高齢化が問題となつた同市の御子原地区を年間予算わずか六十万円で四年間のうちに限界集落から脱却させたお話から始まりました。この地方で生産される「御子原米」をブランド化させる為にローマ法王にお米を献上したり様々なアイデアが紹介されていましたが、大切なのは失敗を恐れずに行動した事、努力を惜しまずに成功するまでやり続ける事の大切さを説かれていました。

また順風満帆、完璧に思われる弘法大師空海さまの人生ですが実はエリートコースの大学を中退し、不安を感じる中でも修業をやり遂げた結果、はるか唐の国に自分の求めていた密教の教えと師匠に巡り合うことが出来た事、また紐をたぐり寄せるように日本への帰

国がかなつた事などをユーモアを交えながら話され、我々も高野山真言宗の『スローガン』『いかせいのち』を達成するために、努力という種をしつかりと蒔き、成功の実を収穫しましょう。といった御法話をして下さいました。これまでのいわゆるお説教ではなく、いかに充実した人生を送るかといった事に主眼を置いたお話だつたと思います。実際に聴きに来られたお檀家様からも「これから生きていく子供や孫にも聞かせたいお話だつた」とか「お大師様にも苦労と不安の時代があつたとは知らなかつた」等とこれまでとは違つた感想も頂きました。

私自身も又、金剛宝戒寺にご縁のある方々にも充実した一生、実り多い人生を送つて頂きたく思い、ジャンルを宗教に絞らず様々な方面で活躍されている方、専門の方々に講演などをお願いして頂くと思つています。多くの強制ではなく自分が興味ある分野の演題の時にでも参加して頂けたらと思つています。四月は高野山の団体参拝がありますので行いませんが、五月には先月ご紹介した音楽療法の講演を実施致します。

五月八日(金曜日)

午後三時から四時頃まで

金剛宝戒寺本堂に於いて

講師 小田佳代子さん

演題「健やかな心と体の為の音楽活用法」

音楽療法の効果効能は三月号に記載していますが、「音楽の力で健康づくりのお手伝い」というのが小田さんのモットーです。健康を保つには身体だけでなく心のケアも大切になります。最近ストレスや精神的な不安定を感じている方、カラオケや詩吟などを趣味とされている方にも有意義な時間になると思われます。お檀家さんに限りませんのでお友達ご家族をお誘いのうえ御来寺下さい。

翌日はお大師様が高野山の奥之院に御入定された旧正御影供になりますのでお菓子のお接待があります。

五月九日(土曜日)「旧三月二十一日」

午後一時頃から夕方まで

金剛宝戒寺本堂に於いて

お接待(旧正御影供)

また、お釈迦様の御誕生を祝う「お花まつり」を今年も行います。法要などはしておりませんが甘茶のお接待が有りますのでお参り下さい。縁起の良い甘茶ですので、ご先祖様にお供えの上、無病息災を願ひ御家族様にも差し上げて下さい。(水筒等をご持参下さい)

五月二十五日(月曜日)「旧四月八日」

午前九時頃から夕方まで

金剛宝戒寺本堂に於いて

お花まつり(旧灌仏会)

高野山開創千二百年の無魔成満を祈念してなりません。お土産話は五月号にて。合掌